

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-141	22-082	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)		
Predicting severe alcohol use disorders in primary care using number of heavy drinking days プライマリ・ケアにおける大量飲酒日数を用いた重症アルコール使用障害の予測		
執筆者		
Metz VE, Palzes VA, Kline-Simon AH, Chi FW, Weisner CM, Sterling SA.		
掲載誌		
Addiction. 2022 Nov;117(11):2847-2854. doi: 10.1111/add.16000.		
キーワード		PMID
プライマリ・ケア、大量飲酒日数、重症アルコール使用障害		35852025
要 旨		
<p>目的：重症アルコール使用障害 (AUD) の同定を改善し、臨床的意思決定を支援するために、AUD に関連する多量飲酒日数 (HDDs) の閾値を明らかにする。</p> <p>方法：2014 年から 2017 年にかけて、米国カリフォルニア州北部の大規模医療保険システムのプライマリケアでのアルコールスクリーニングで、3 ヶ月間に 1 回以上の HDD (65 歳以上の女性と男性は 4 回以上の飲酒/回、18~64 歳の男性は 5 回以上) を報告した成人 138 765 人の電子カルテデータを解析した。全数および性・年齢別に 3 ヶ月間の HDD 回数の翌年の重症 AUD 診断予測に対する感度と特異度を算出した。</p> <p>結果：男性 66.5%、平均年齢は 40.6 歳であった。スクリーニング後 1 年間の重症 AUD 有病率は 0.6% であった。全数における重症 AUD を予測する最適な閾値は HDD5 回以上であった [感度=68.9%、95%信頼区間 (CI) =65.9、72.0 ; 特異度=63.2%、95%CI=62.9、63.4]。女性は男性よりも閾値が低く (HDD 4 対 6)、女性は加齢とともに減少したが (18~24 歳では HDD 5 から 25 歳以上では HDD 4)、男性は加齢とともに増加した (18~24 歳では HDD 5 から 25~64 歳では HDD 6、65 歳以上では HDD 7)。</p> <p>結論：成人のプライマリ・ケアにおいて、3 ヶ月間に大量飲酒 5 回以上は重症 AUD のリスクが高いことを示す可能性がある。性別・年齢により HDD の最適閾値は異なった</p>		